

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

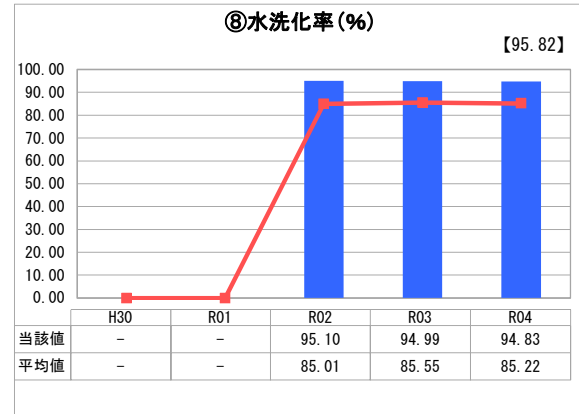
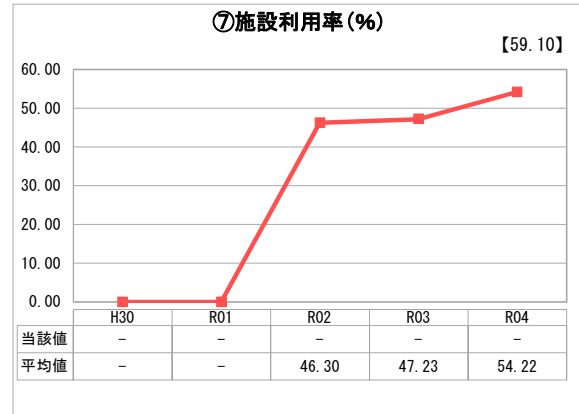
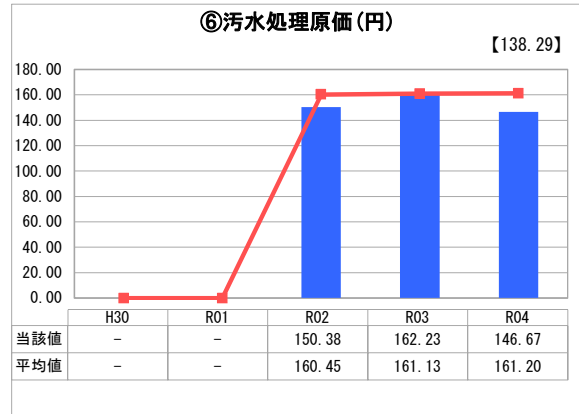
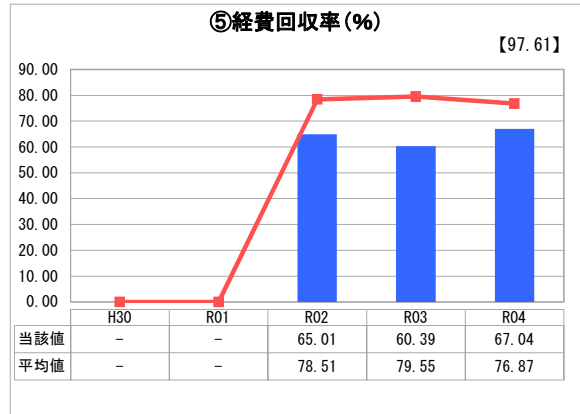
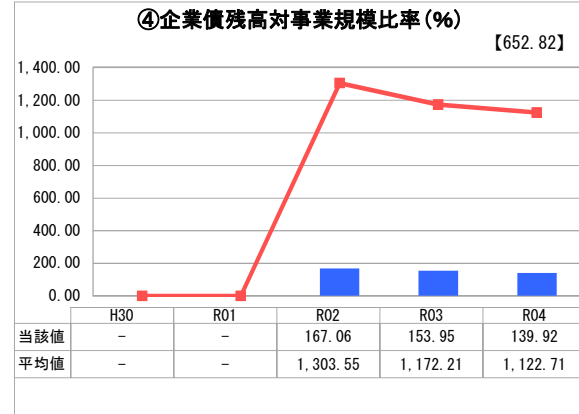
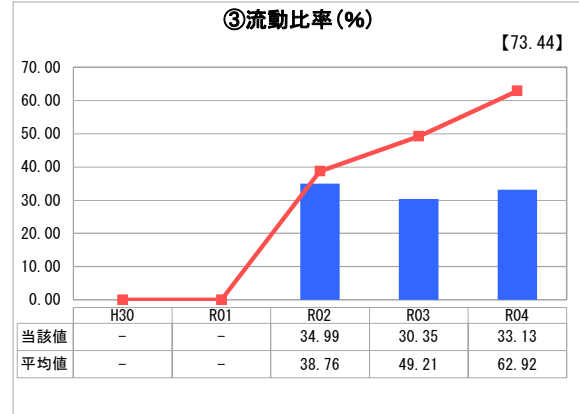
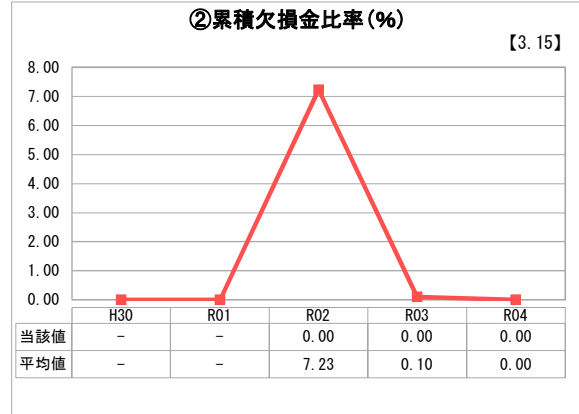
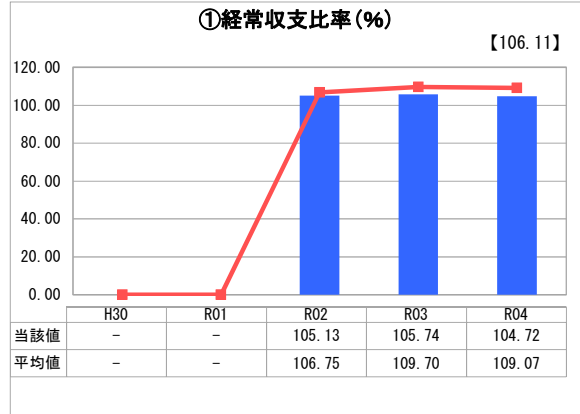
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	80.39	73.85	77.39	1,883

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,514	15.95	2,101.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
24,626	3.75	6,566.93

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率…経常収支比率は100%を超えています。経費回収率が100%を下回っているため、汚水処理費を一般会計からの繰入金で賄っている状態にあります。下水道使用料金の適正化や費用の削減に取り組み、経営改善をする必要があります。

② 累積欠損金比率…なし。

③ 流動比率…流動比率が類似団体平均値と比べて大きく下回っている状態にあります。一般会計からの繰入金で費用を賄っている状態なので、下水道使用料の適正化を行い、自己資金を確保する必要があります。

④ 企業債残高対事業規模比率…企業債残高対事業規模比率が全国平均値、類似団体平均値と比べて大幅に下回る結果となりました。企業債の支払いが進んでいるため、昨年度該当値と比較すると減少しています。

⑤ 経費回収率…経費回収率が100%を下回っており、類似団体平均値と比較しても下回る結果となりました。下水道使用料の適正化や汚水処理費用の削減を行い、経営改善をする必要があります。

⑥ 汚水処理原価…類似団体平均値と比較して約15円下回っているが、全国平均と比較すると約8円上回る結果となりました。汚水処理費の削減などの経営改善を行うとともに、下水道使用料の適正化を行い、自己資金を確保する必要があります。

⑦ 施設利用率…なし。

⑧ 水洗化率…水洗化率が類似団体平均値と比べて上回っているが、全国平均と比べると下回っています。水洗化率100%に向けて今後も継続の促進に努めます。

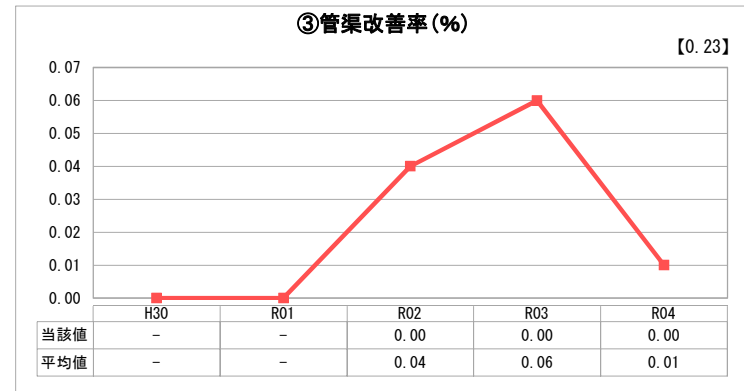
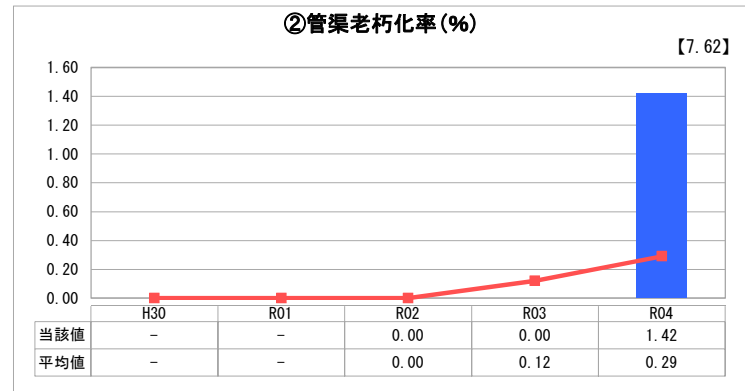
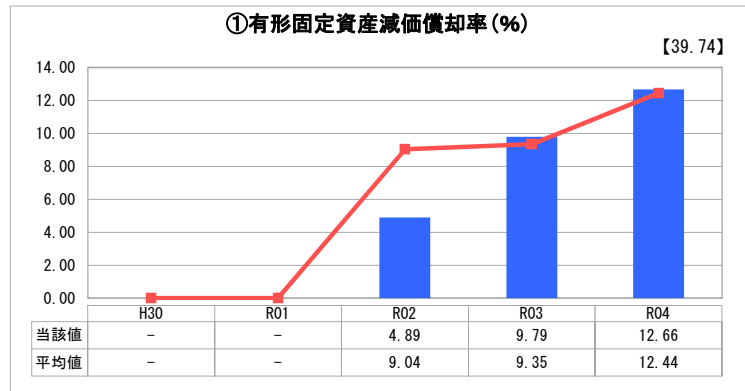
### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率…類似団体平均値と比べてほぼ同水準となっています。本町の下水道事業は昭和63年に着工して平成5年から供用開始しています。令和32年をピークに年々増加していくと考えられます。令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、計画的な施設の更新に努めます。

② 管渠老朽率…法定耐用年数を超えた管渠延長があったため、類似団体平均値を上回っています。今後さらに増加すると考えられる法定耐用年数を経過した管渠に対して計画的に更新を行う必要があります。

③ 管渠改善率…なし。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経営状況につきましては、下水道事業の運営財源を一般会計からの繰入金に依存しているため、下水道事業経営戦略に基づき、下水道料金の見直しなどを行い、経営の改善をする必要があります。管渠の状況につきましては、業認可区域の整備が完了しているため、当面は施設の維持管理及び老朽化対策が主体となります。老朽化対策については、法定耐用年数に近い資産が増加しているため、計画的に施設の更新を行い、効率的な投資を図る必要があります。令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、安心安全な下水道サービスの提供に努めます。

※令和2年度から地方公営企業法を全部適用し、企業会計に移行したため、令和元年度以前の指標は表示していません。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。